

低線量 CT 検査による肺がん検診（肺ドック）のご案内

現在、我が国では肺がん患者がきわめて多く、肺がんによる死亡数は男女とも年々増加しています。

肺がん検診をめぐる研究結果（エビデンス）はこの 20 年間で大きく進展し、2025 年には「有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン」が 19 年ぶりに改訂されました。

本ガイドラインでは、年齢が 50 歳～74 歳で、重喫煙者：喫煙指数（1 日平均喫煙本数×年数）が 600 以上の方で、現在喫煙中または禁煙から 15 年以内の方に、低線量 CT 検査による肺がん検診が推奨されました（推奨グレード A）。

CT 検査には放射線被ばくの問題がありますが、肺がん検診として CT 検査を実施する場合、低線量 CT が推奨され、通常の CT 検査と比較して放射線被ばく量を 1/5～1/10 に抑えることが出来ます。

また上記対象以外の年齢の方や重喫煙者でない方、または非喫煙者においても、低線量 CT 検査による利益（肺がん死亡率減少）と不利益（偽陽性、過剰診断、放射線被ばくなど）につき十分理解される場合は、個人の判断により検査を受けることが可能です。

当院では低線量 CT 検査による肺がん検診を、人間ドックのオプションや単独の肺ドックとして受けることができます。

料金は、人間ドックのオプションおよび単独の肺ドックとも 14,300 円(税込み)です。

また、当院では撮影された CT 画像を放射線科医による読影に加えて、最新の AI を用いた結節診断を取り入れることで、病変の見落としを最小限にするようにしています。

さらに、肺ドックにて精密検査や経過観察が必要な病変が見つかった場合は、当院呼吸器内科への受診が可能です。

本検査を希望される方は予約が必要ですので、健診センターまでご相談下さい。